

国産大豆の需要・・・3つの観点

- 1) 国産大豆の需要
交付加価値商品
 - 2) 国産大豆の需要：地産化レベル
地域社会への貢献＝地産化
実需者による大豆生産へのかかわり
 - 3) 国産大豆の需要：持続可能な醤油生産
資源循環型農法による生産拡大
共同研究の連携体制
- 最後に



3) 国産大豆の需要 地産化の拡大レベル

- ・ **これからもずっと、400年。**

地元で生産、生産物は全量買い取り・醤油を作る
発酵諸味粕堆肥で地力の維持向上を図り、

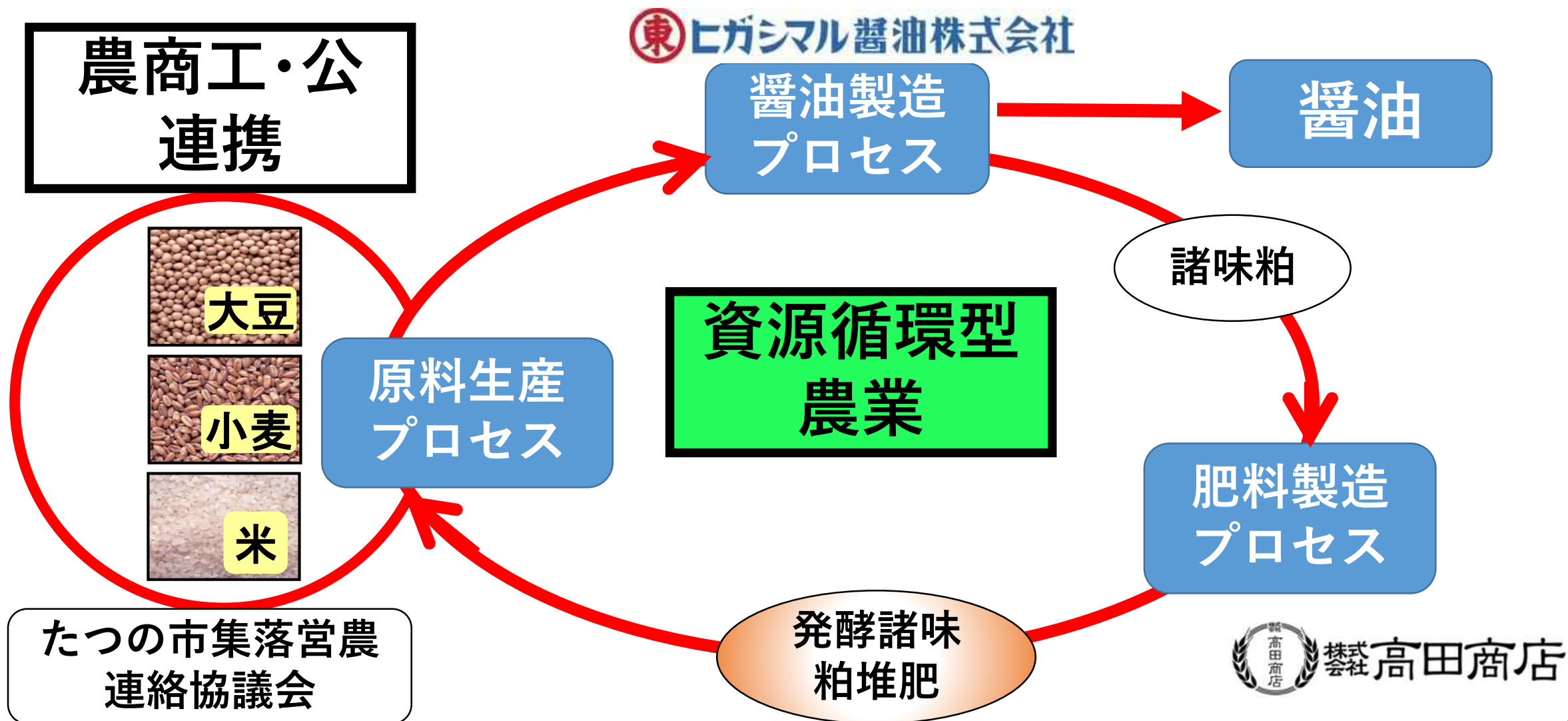
高品質品種で**永続的な農業**で、**持続可能な醤油生産**を目指す。

まだまだ足りない
地元産原料

このため、**地産化の輪を広げる**
地元での栽培面積の拡大 & 近隣への拡大

- ・ 2050年問題、プラネタリーバウンダリー、食料安全保障(食料は戦略物資)
地球人口は100億↑温暖化により畑地は減↓遺伝子組換え技術による単収増も限界
大量生産大量消費のツケ
- ・ 日本は今では買える、途上国は脱落、日本は自己調達せよ(世界の視点)
- ・ 国際情勢の不安→防衛力強化→グローバル化の歪

●資源循環型農法による生産拡大

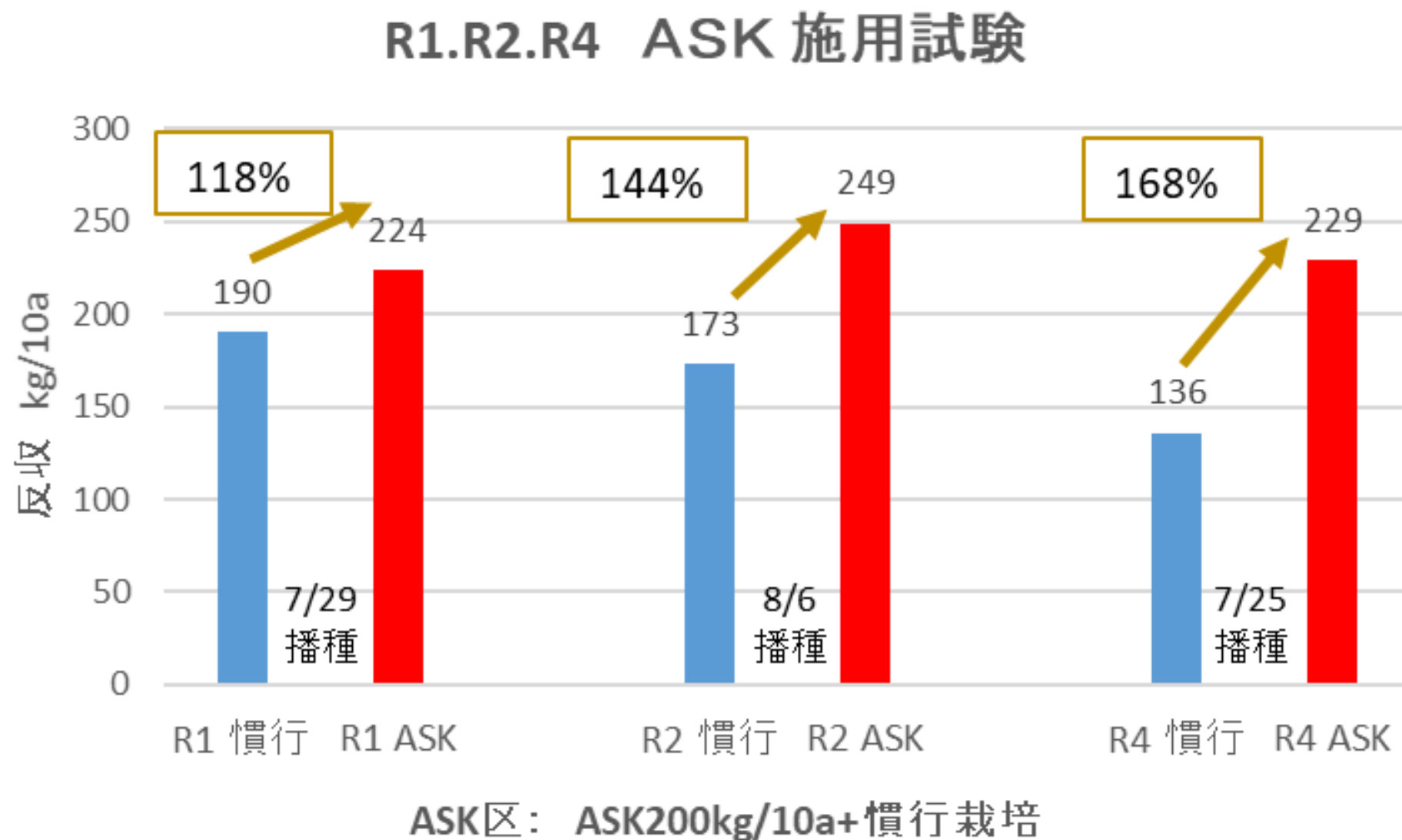


発酵諸味粕堆肥の製造と散布は？



(株)高田商店が担う

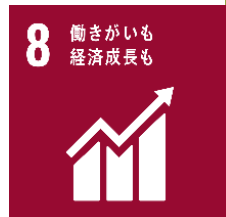
A S K (発酵諸味粕堆肥)で大豆増収



「発酵諸味粕堆肥」だけで米栽培

地元企業と連携した資源循環型農業の実現

～本当の持続可能性はここにある～



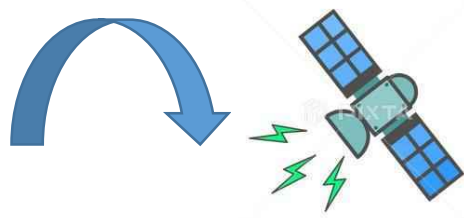
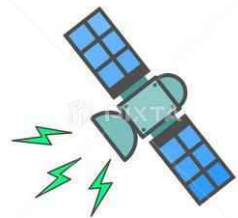
2023/02/01

発酵諸味粕堆肥の排水性・地力向上

農研機構との 新たな共同研究

- 土壌の物理的排水性評価
 - ガス拡散係数測定
 - 土塊法
 - 負圧侵入計
 - 土壌断面調査
 - 貫入式土壌硬度調査
 - 地下水位・土壌水分の変化
 - ドローンによるリモートセンシング
 - +
 - たつの地区小麦大豆の生育調査記録
 - +
- 発酵諸味粕堆肥





○アグリライト研究所・RESTEC
水稻情報→小麦栽培に活かす
小麦情報→大豆栽培に活かす
衛星リモートセンシング



○ヒガシマル農産事業課
(+ マルチスペクトル
ドローンによる全圃場検証)



○兵庫県農技
水稻＆高タンパク米
発酵諸味粕堆肥
栽培技術開発



○西日本農研
小麦品種開発
(+ 多収技術開発)



○西日本農研
大豆品種開発
(+ 多収技術開発)



○西日本農研
土壌排水性評価
+ 発酵諸味粕堆肥



○兵庫県農技
発酵諸味粕堆肥
ジャンボタニシ対策



○ヒガシマル農産事業課
発酵諸味粕堆肥の
作用メカニズムの解明



○西日本農研 + BASF
大豆難防除雑草
アサガオ防除技術実証

●最後に 全量国産大豆にするためには

食糧量 = 面積 × 単収

1) 面積：拡大 = 大豆作の無い「田」で大豆作
：能力 = 「地力」 OASK

2) 単収：能力 ↑
「品種開発」 O
「栽培技術」 OASK
「人の育成」

仕組み

技術の普及技術 =
栽培技術を普及させる
教育技術・機関

教育

ご清聴ありがとうございました

おいしさをずっと、400年。
東ヒガシマル醤油



ヒガシマル醤油は、**原料（土と循環）**から**食卓**までにこだわ
り、

お客様から**満足と信頼**を得られる商品を提供し結んでいます